

学生募集戦略検討委員会「第2回学募共同事業」勉強会を開催しました

2020年8月4日(火)に「学募共同事業勉強会」を開催し、13大学23名にご参加いただきました。
今年4月の第1回勉強会に続き、ZOOMによるオンライン形式で行いました。

開会挨拶

丸山悟会長(日本福祉大学理事長)より、「最近の調査で、コロナ禍における社会の変化に対して、若年層ほど期待感が大きいことが示された。デジタル世界の拡張に肯定的な姿勢がみえ、特に公平公正でストレスフリーな社会を実現したいという思いが強い。福祉職は対人援助に関わる職が多く、このような状況で本当に大事な分野だといえる。例えばデジタル世界が進展しても、それを上手く使えない人の支援をする人も必要である。本日はこのような状況下での学生募集のヒントをつかめるよう議論を深めていきたい。」との挨拶がありました。

続いて、以下の報告と意見交換を行いました。

1. 2020年度学募共同事業施策の結果について

報告：株式会社ボーダーリズム 横地祐人氏

今年度の学募共同事業施策として、今年7月、配信セグメントに「福祉×コロナ」「災害×コロナ」等の視点を入れたTwitter広告を実施しました。今回はその配信結果が報告されました。

参加者からは、「“災害”“コロナ”というキーワードを福祉の学びと結びつけて考えていきたい。」「“人の役に立ちたい”と考える高校生に、どのように福祉を訴求するか考えたい。」「Twitter広告のリンク先である当協議会ホームページの内容充実が必要ではないか。」等の感想、意見が寄せられました。

2. コロナ禍が及ぼす高校生の進路選択における心理変容について

報告：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介氏

コロナ禍での進路選択に関わる高校生の行動変容について、調査結果の速報が報告されました。

参加者からは、「コロナ禍において、“福祉分野”は就職に強く、人を支えるやりがいのある仕事という側面が評価される分野と考えられる。今後、総合大学で福祉分野を含む大学全体を打ち出していく際、どのような訴求が考えられるか。」等の質問が寄せられました。

開会挨拶

学生募集戦略検討委員会幹事校の淑徳大学 長谷川俊哉事務局次長より、「当協議会として、今後も福祉の底上げや高校生の“福祉”への認知拡大に取り組んでいきたい。次年度の学募共同事業施策についてもぜひご意見をお寄せいただき、引き続き皆様と取り組みを進めていきたい。」との挨拶がありました。

以上、現状を踏まえて今後の学生募集の取り組みを考える有意義な勉強会となりました。

次回は、次年度の学募共同事業施策について勉強会を開催する予定です。